



「島嶼型 XR トレーニングシステムの開発とその検証」

● プロジェクトの概要

本プロジェクトでは、地域医療で求められる臨床判断力や実践的技能を効果的に育成するため、XR を活用した医療教育手法を整備し、その教育的有用性を検証する。医療従事者が臨床場面を安全に体験・反復できる学習環境を構築するとともに、学習の過程で生じる行動や判断の特徴を把握し、教育効果を客観的に示す。これらを通じて、地域医療の質向上に資する持続的な教育基盤の確立を目指す。このプロジェクト推進にあたり助教（任期なし）を公募する。

● プロジェクト実施計画

地域医療の実情を踏まえ、医療従事者が必要とする臨床判断力や技能を効果的に習得できる新しい教育方法を確立することを本プロジェクトの目的とする。XR 技術を用いて臨床現場を模した学習環境を整備し、その教育的有用性と学習過程に影響を与える要因を明らかにする。

第 1 期では、臨床場面の再現性を高めた学習環境を構築するとともに、学習者の意思決定や技能習得に関わる行動情報を包括的に収集できる体制を整える。第 2 期では、地域医療で特に重要とされる症例や状況を基に訓練内容を設定し、XR 環境内で実施する。得られた学習データを分析し、教育効果や技能習熟の特徴を明らかにする。第 3 期では、医療機関での実践的な検証を行い、異なる教育環境における再現性や有効性を評価する。最終的には、地域医療における教育機会の格差を縮小し、臨床能力を安定して育成できる教育モデルの確立を目指す。

● プロジェクトリーダー

琉球大学工学部工学科 電気システム工学コース 比嘉 広樹

メールアドレス: hrhiga@cs.u-ryukyu.ac.jp

メッセージ: 本プロジェクトは第1期～第3期の活動を含め、5年間の実施期間を想定している。プロジェクト完了後には、本研究で得られた知見を発展させた後続プロジェクトを立ち上げ、継続的な研究・社会実装を進めていく計画である。